

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王東小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

・国語に関しては、全国の平均正答率とほぼ同程度であり、特に「書くこと」と漢字を含む「言葉の特徴や使い方に関する事項」についてはよく定着しており、日頃からの継続した取組の成果が見られます。一方で、「読むこと」において、「目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけること」について課題がみられました。

・算数に関しては、「数の計算」「データの活用」について平均正答率が全国より低いです。特に、示された日常生活の場面や複数のグラフを読み取り、言葉や数、式を用いて記述する思考・判断・表現の部分で課題が見られました。一方で、「変化と関係」については、「2つの数量の関係から数を求める」学習内容で定着が見られました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向がみとめられる項目

「先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思うか」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うか」「英語の勉強は好きか」「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思うか」について高い数値を示しています。

・課題となる項目

「家で自分で計画を立ててよく勉強をしている」「学校がお休みの日に、1日当たり3時間以上勉強をしている」「平日1日当たり1時間以上読書をしている」が全国の平均よりも低いです。

国語に比べて「算数の勉強が好きだ」「算数の授業の内容が分かる」の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

・各教科で「主体的・対話的に学ぶ子どもの育成」の視点で授業の工夫を行います。特に1人1台端末をはじめICT機器等を活用した協働的学習を通して、思考力・判断力、学習意欲等の向上を目指します。授業の中で、自分の考えをもつ時間を確保し、その考えを書いたり交流したりすることにより、考えを広めたり深めたりするとともに、様々な方法で表現することを組み入れた「わかる」「できる」授業を目指します。

・国語の学習では、筆者の考えを読み取るために、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする学習に取り組めます。また、読書の活動にも継続して取り組みます。

・算数の学習では、日常生活の場面から考えたり、図や式などを用いて数量の関係を表したりしながら理解を深めるとともに、目的に応じて、複数の情報を関連付けながら自らの考えを記述する学習に取り組めます。

・児童が自主学習に力を入れることができるよう、手引きや自主学習用ワークシート集を充実させます。また、家庭学習の取組・内容の工夫を図り、学習時間の確保につながるよう努めます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

・家庭学習が習慣化されるよう、児童への励まし等ご協力をよろしくお願いします。

・ゲームやテレビ、スマホ等の使用が長時間化しないように家庭でのルールを決めるとともに、家庭学習や読書をする時間の確保をお願いします。

・「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣を定着・継続させ、規則正しい生活リズムを大切にしてください。

・その日の学校での出来事や学習したことなどについて、家族で会話をする機会をつくってください。